

## ステークホルダーとのコミュニケーション

### 非常用エンジンメンテナンスサービスガイド紹介

このたび、2019年12月に「非常用エンジンメンテナンスサービスガイド」を作成しました。

本カタログは、旧新潟鐵工所時代から日本全国に多数納入された非常用ディーゼルエンジンおよび、ガスタービン自家発電設備のうち長期間にわたりメンテナンス（以下メンテ）が行われていないお客様をターゲットに、カスタマーサポートセンター（以下CS）担当がお客様にメンテを計画いただけるよう、提案活動を行うためのコミュニケーションツールとして作成したものです。

なお、本ガイドの作成にあたっては、近年、地震や水害等の自然災害による大規模停電の発生が増え自家発電設備の重要性が注目される中で、発電設備を備えながらも日頃の整備・管理不良によって有事の際に設備が始動ができない、もしくは始動後に異常停止する不具合事例があることから、トラブル発生時の「事後保全（都度修理）」ではなく、製造メーカーによる「予防保全（定期メンテ）」により安心されるサービスを提供し、自家発電設備のパフォーマンスを維持しトラブルを未然に防ぐことの重要性についてご理解を得る内容としました。

カタログの構成としては、お客様に手に取っていただきやすくペーパーカタログ版の枚数は極力少なくし、また掲載したQRコードで当社ホームページへ遷移し、詳細版となるWEB版が閲覧できる仕様としました。

なお、WEB版ではメンテ周期表や簡易版仕様書や実際のメンテ工事のエンジン分解写真等を中心としたビジュアル資料を掲載する内容とし、興味を持たれたお客様にあわせて当社ホームページを閲覧いただける機会にもなるように配慮しました。

作成にあたり苦労した点は、CSメンテナンス工事部のメンバーが社外向けカタログをはじめて作成したことと、「製品紹介」ではなく「メンテナンス」というサービスをお客様向けに分かりやすく伝える冊子として纏める必要があったことです。

現在は、CS各拠点においてお客様への訪問時に、都度本カタログを配布し、メンテ提案活動をおこなっています。

今後は、WEB版については、写真や改修メニュー等をさらに充実させ、お客様に安心をお届けするツールとして活用していきます。

#### メンテナンスサービスガイド 紙カタログ版



#### メンテナンスサービスガイド WEB版



## 国際海事展「バリシップ2019」への出展

バリシップは、UBMジャパン(株)主催で2年に一度開催される西日本最大の海事展です。今回で6回目の開催となり、2019年5月23日(木)~25日(土)の3日間、出展社350社(16の国と地域)、来場者16,259名と、前回2017年を上回る規模での開催となった中で、当社は会場入り口付近に単独ブースで出展しました。

2018年4月に四国営業所を開設し、内航船市場のシェアアップに努めてまいりましたが、内航船建造造船所のメッカである愛媛県今治市での開催ということで、造船所様、船主様、関連業者様等、多くの方々に来場いただきました。

今回の展示の目玉として、新開発の船用低速機関「6M34RT」の模型・映像・パネルを展示し、お披露目を行いました。展示会開催直前にプレスリリースを行ったこともあり、業界内での関心も高く、来場者の方々にも興味を持っていただきました。そのほかにも、船用ニイガタディーゼル生誕100年やニイガタZペラ生誕50年、28AHX-DFのパネル展示を行い、ニイガタブランドのPRに励み、おかげさまで開催期間中天候にも恵まれ、当社ブースには業界関係者372名のほか最終日の一般公開日には地元の家族連れの方々にも来場いただき大盛況のもと終えることができました。



開会式



集合写真



当社ブースの様子